

イントラ SSL Type-L(D.e-NetWide 接続)

端末利用者接続マニュアル

Windows 版

スプリットトンネル利用者用

(接続先 : <https://ssl-lp.toyotasystems.jp> 用)

Ver2.3

株式会社トヨタシステムズ

改定履歴

Ver.	改定内容	改定日
1.0	初版	2017/7/14
1.1	文言/誤記修正	2017/8/9
1.2	事前準備項目変更 証明書インポート手順に、管理者権限を持たない場合の追加手順を記載 固定 IP 利用時の DNS サフィックス設定手順を追加 [参考]に 2 項目追加	2017/10/25
1.3	パスワード有効期限の変更 各種通知メールの件名を修正	2018/8/27
1.4	社名変更	2019/1/1
1.5	パスワード有効期限を無期限に変更	2019/4/1
1.6	VPN 接続時のサーバー選択画面の修正	2021/3/29
1.7	VPN 接続時に表示される警告画面への対処法の追記	2021/4/8
1.8	問合せ先情報修正	2021/4/22
1.9	管理者権限が必要なリンクのハイパーリンクを削除	2021/7/6
2.0	Microsoft Edge 用の手順に修正	2021/10/29
2.1	VPN 接続先サーバーの FQDN を変更	2022/1/13
2.2	Gléas CertImporter アプリケーションの使用による手順変更	2023/7/24
2.3	Microsoft Edge プロパティ起動手順修正	2024/4/15

目次

改定履歴	2
はじめにお読みください	4
利用までの流れ	5
事前準備	6
1.初回ログイン	8
2.証明書 DL ツール導入	13
3.証明書のインポート	15
4.旧証明書削除	25
5.EdgeClient インストール	29
6.SSL-VPN 接続	32
6-1.オンデマンド接続	35
7.パスワード変更	39
[参考]トラブルシューティング	42
[参考]管理者権限有無の確認方法	43
[参考]DHCP 設定か固定 IP 設定かの確認方法	44
問い合わせ先	46

はじめにお読みください

画面イメージのユーザー名・表示内容等はサンプルです。

実際の画面ではお客様のご利用環境・設定内容に応じた内容が表示されます。

利用までの流れ

認証方式によって導入 STEP が異なります。

認証方式が不明の場合は管理者へお問合せください。

STEP	パスワードのみ	パスワード&証明書	証明書のみ
事前準備			
1	初回ログイン		
2		証明書 DL ツール導入	
3		証明書のインポート	
4		旧証明書の削除 (ｲﾝﾄﾗ SSL またはｲﾝﾄﾗ SSL Type-L(ATI 接続)から 移行時のみ)	
5	EdgeClient インストール		
6	SSL-VPN 接続		
アプリケーションへ接続			

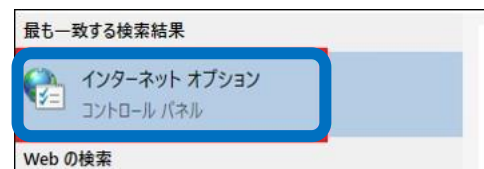
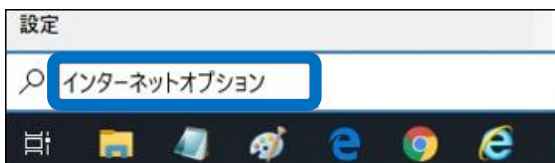
事前準備

事前にご利用端末が、以下設定となっていることをご確認ください。

(1) Windows マークをクリック。



(2) 検索の入力枠のところに「インターネットオプション」と入力し
インターネットオプションを起動。



上記手順でインターネットオプションが出力されない場合は

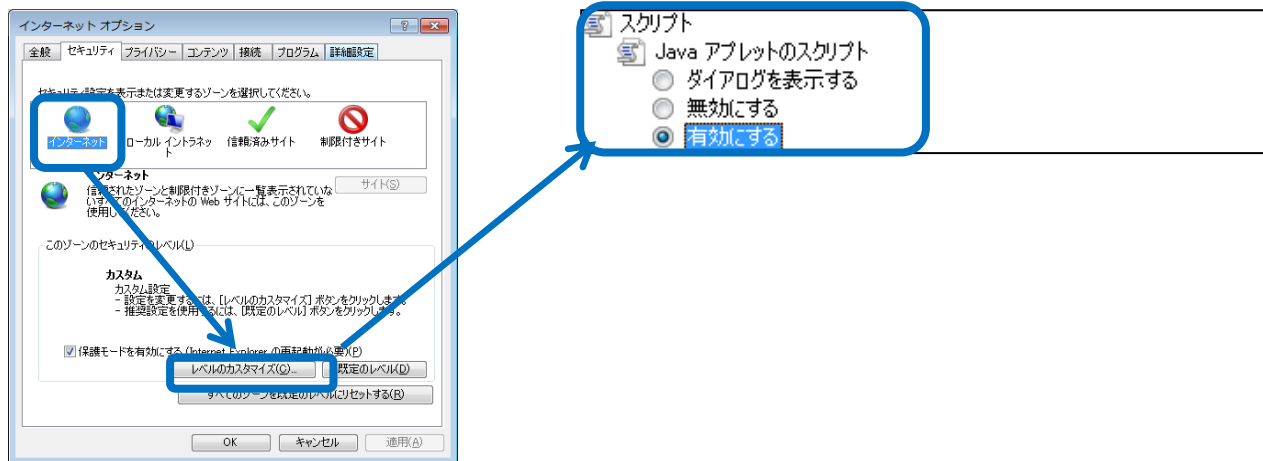
Windows マークをクリック後、「inetcpl.cpl」と入力して Enter を押下。



① Javascript が有効であること

[インターネットオプション]>[セキュリティ]>[インターネット]

>[レベルのカスタマイズ]>[Java アプレットのスクリプト]>[有効にする]

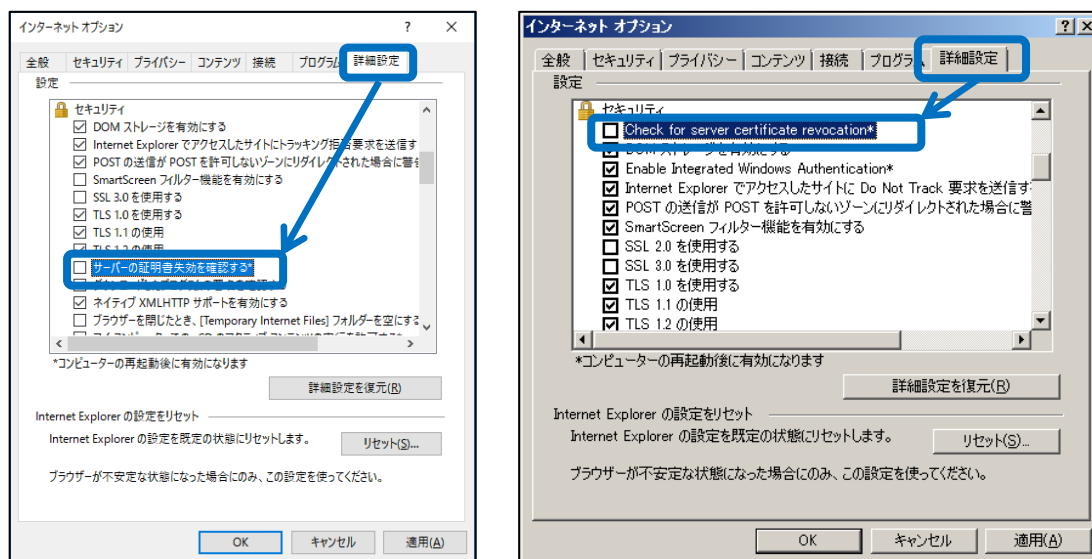


サーバーの証明書失効を確認しないこと

[インターネットオプション]>[詳細設定]

>[サーバーの証明書失効を確認する*]または

[Check for server certificate revocation*]のチェックを外す



※設定を変更した場合、端末の再起動が必要となります。

1.初回ログイン

(1) 端末登録完了通知メールを受信

※本メールはお客様管理者が登録しないと送付されません。

メールが届かない場合はお客様管理者へお問い合わせください。

送信元アドレス	イントラ SSL 運用窓口 <helpdesk@tns.toyotasystems.com>
宛先	利用者のメールアドレス
件名	[イントラ SSL]端末登録完了通知 (ID 名) YYYY/MM/DD hh:mm:dd

[メールサンプル]



(2) 端末登録完了通知のメール本文のリンクをクリックし、以下 URL へ接続


URL	https://ssl-ua.d-cruise.jp
------------	---

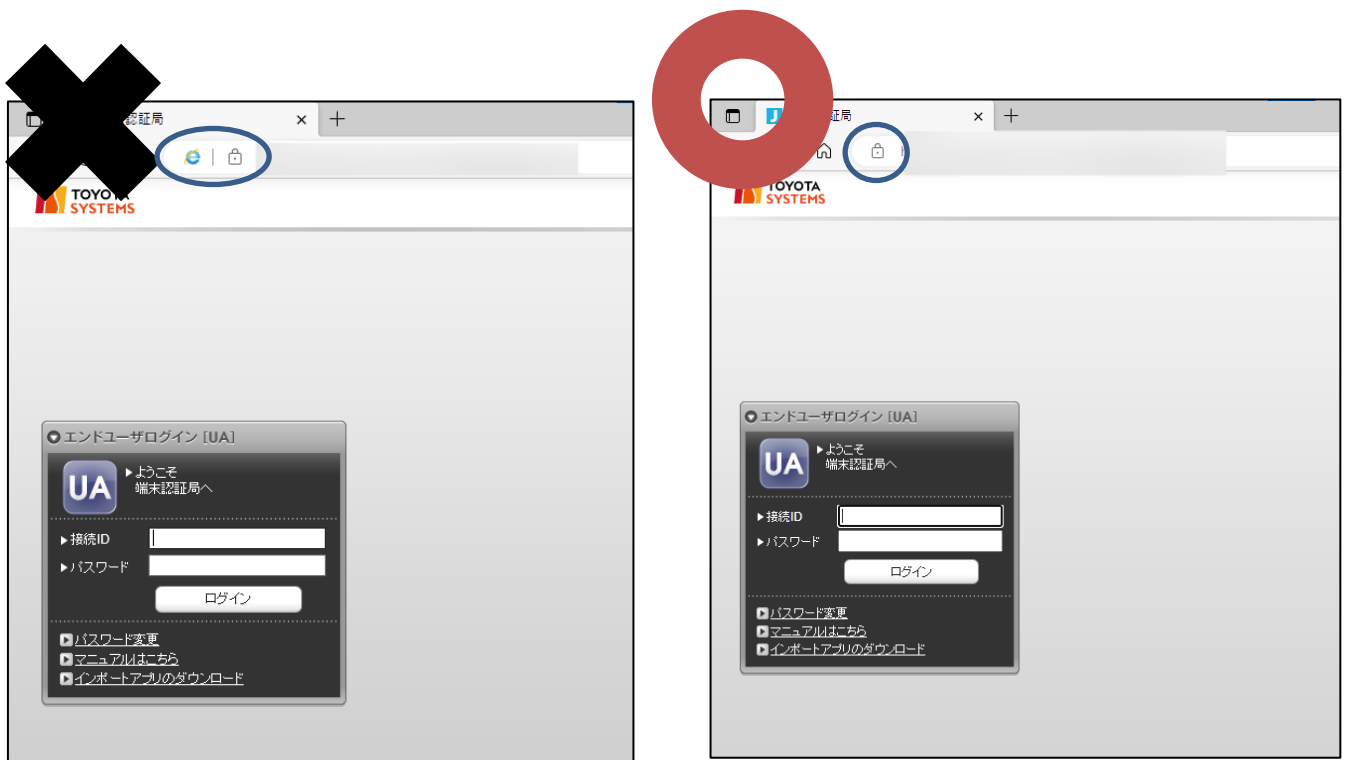
[メールサンプル]

以下の手順に従い、パスワードの登録を行ってください。

1. 以下 URL をクリック
https://ssl-ua.d-cruise.jp/
2. 接続 ID、初期パスワードを入力しログイン
3. 新しいパスワードを入力し、パスワードの登録
4. パスワード登録後、接続

[接続後の画面]

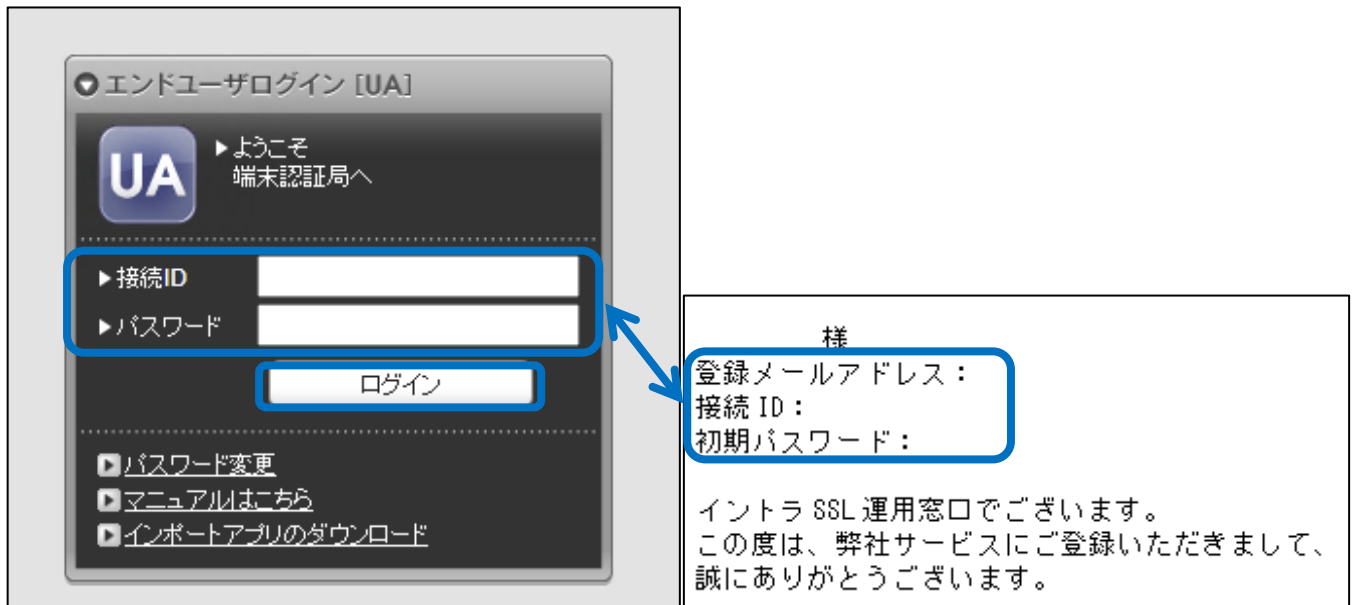
 IE モードを使用する必要はございません。



(3) 端末登録完了通知のメール本文に記載の「接続 ID」と「初期パスワード」を入力し、「ログイン」ボタンをクリック。

[認証ページ]

[メール本文]




● エンドユーザログイン [UA]
 UA ▶ ようこそ
 端末認証局へ
 ▶ 接続ID
 ▶ パスワード
 ログイン
 ▶ パスワード変更
 ▶ マニュアルはこちら
 ▶ インポートアプリのダウンロード

様
 登録メールアドレス：
 接続 ID：
 初期パスワード：
 イントラ SSL 運用窓口でございます。
 この度は、弊社サービスにご登録いただきまして、
 誠にありがとうございます。

- (4) ログイン後の画面から「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、「新しいパスワード(確認)」を入力し「change」ボタンをクリック。

パスワードの変更

パスワードの変更

 パスワードの入力

このページはパスワードの変更を登録を行います。
 フォームに接続ID、パスワードを入力してください。
 全項目入力必須です。空欄のフォームがある場合は、パスワード変更は完了しません。
 パスワードは6文字以上の英数字または記号で入力してください。
 その他のパスワードポリシーは下記FAQより「パスワードポリシーを教えてください」を参照ください。
[FAQ](#)

▶ パスワードの入力

接続ID ★:

1 現在のパスワード ★:

2 新しいパスワード ★:

新しいパスワード(確認) ★:

1 : 現在のパスワード → 初期パスワード

2 : 新しいパスワード → 任意 ※6文字以上英数字又は記号

: 新しいパスワード(確認) → 同上




以上で初期パスワード変更は完了です。ブラウザを閉じてください。

認証方式が パスワードのみの場合 → [5.EdgeClient インストール](#)

認証方式が パスワード&証明書 または 証明書のみの場合

→ [2.証明書 DL ツール導入](#)

へ進んでください。

 認証方式がわからない場合は、管理者へお問合せください。

2.証明書 DL ツール導入

(1) 以下 URL へ接続。

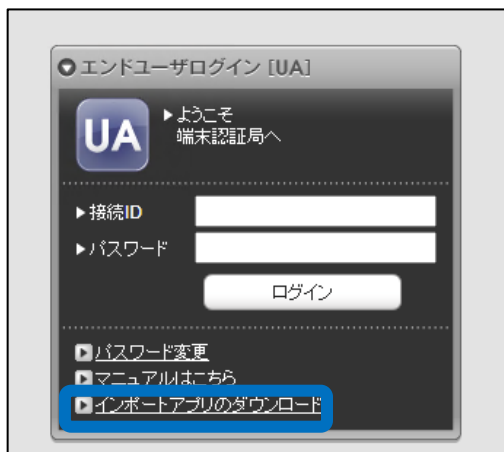
URL

<https://ssl-ua.d-cruise.jp>

[接続後の画面]



(2) 「インポートアプリのダウンロード」をクリック。



(3)以下の画面に遷移するので、表示される手順に従って

Gléas CertImporter アプリケーションのインストール

プライベートCA **Gléas** ノ グレアス

Gléas CertImporter アプリケーションのインストール手順

STEP1 インストーラのダウンロード

下記のボタンをクリックし、Gléas CertImporter インストーラ（SetupCertImporter.msi）をダウンロードします。



STEP2 インストーラの実行

「お使いのデバイスに問題を起す可能性があるため、ブロックされました」という表示は、ダウンロードしようとしているファイルの危険性がないかどうかの確認を促す、Microsoft Defender SmartScreenという機能からのメッセージです。

メッセージが表示された場合は、次のとおり操作します。

(4)最後に Edge の再起動を実施し、次の手順に進む

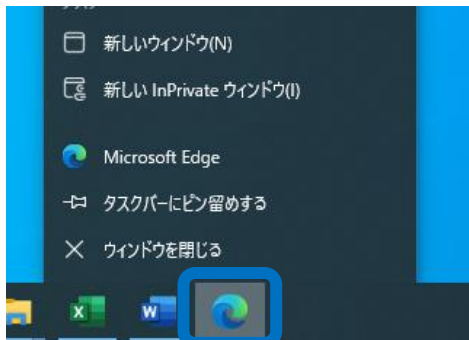
STEP10 Edgeの再起動

再びEdgeを起動すると、Gléas CertImporter が利用可能になります。

※STEP8の前にEdgeを再起動した場合は、Gléas CertImporter をご利用できません。必ずSTEP8のあとにEdgeを再起動してください。

3.証明書のインポート

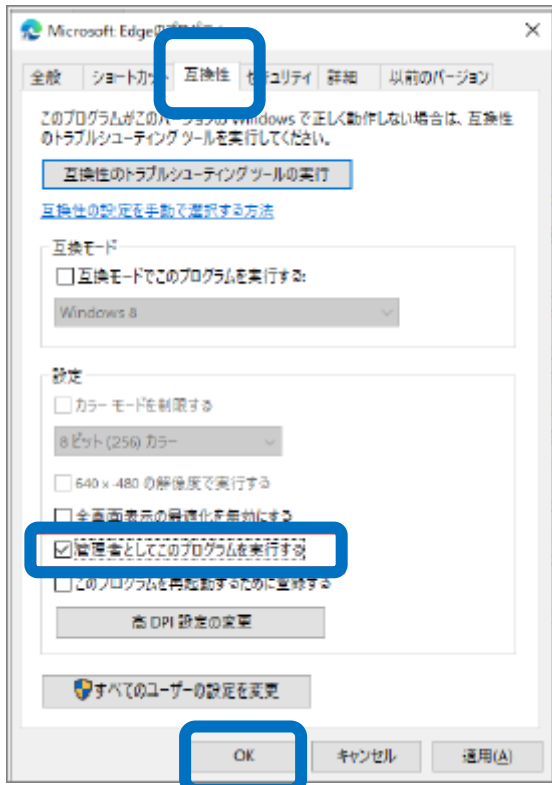
(1)タスクバーの Edge アイコンを 右クリック する。



(2)下から 3 番目に表示されている Microsoft Edge を右クリックし
その後表示されるプロパティを押下する。

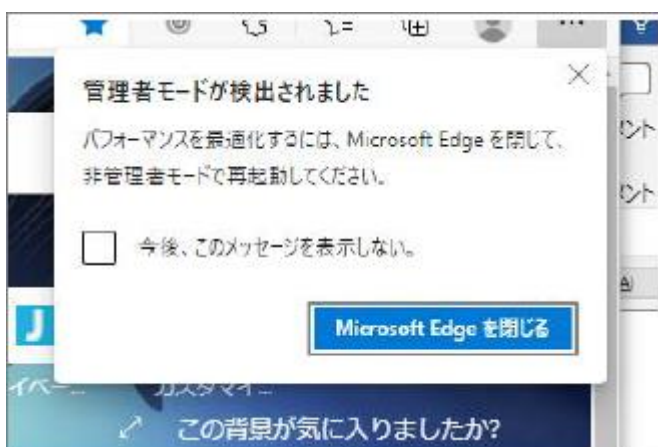


(3)プロパティの互換性タブにて「管理者としてこのプログラムを実行する」
 をチェックし「OK」をクリック



(4) Edge を起動してください。※起動済の場合は、再起動してください。

※ポップアップ は「×」でクローズしてください。



(5)以下 URL へ接続。

URL

<https://ssl-ua.d-cruise.jp>

[接続後の画面]



● エンドユーザログイン [UA]

UA ▶ ようこそ
端末認証局へ

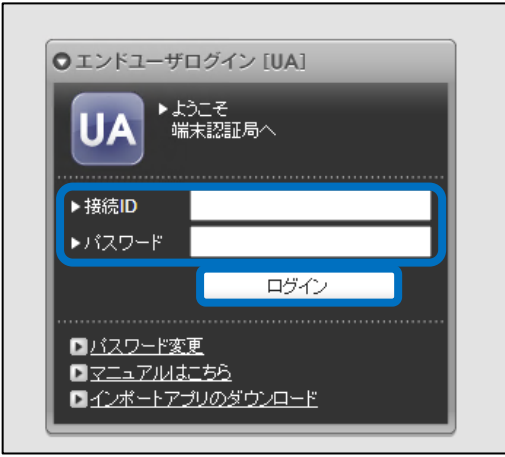
▶ 接続ID

▶ パスワード

ログイン

パスワード変更
 マニュアルはこちら
 インポートアプリのダウンロード

(6)「接続 ID」と「パスワード」を入力し、「ログイン」ボタンをクリック。



● エンドユーザログイン [UA]

UA ▶ ようこそ
端末認証局へ


▶ 接続ID

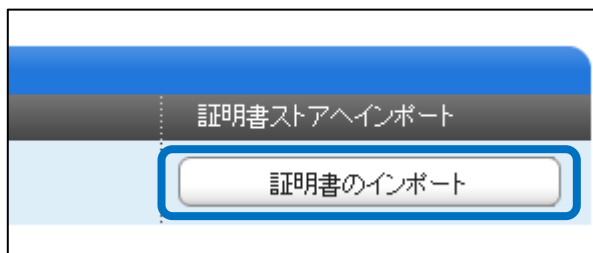
▶ パスワード

ログイン

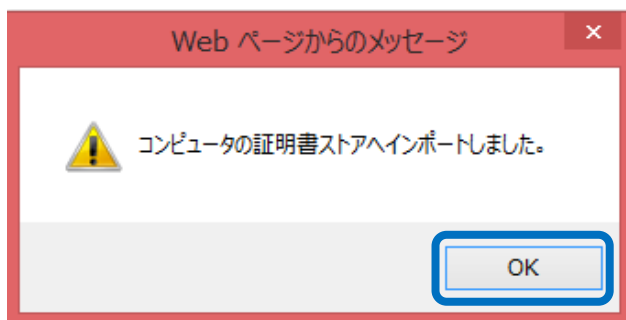
パスワード変更
 マニュアルはこちら
 インポートアプリのダウンロード

(7)ログイン後の画面から「証明書のインポート」をクリック。

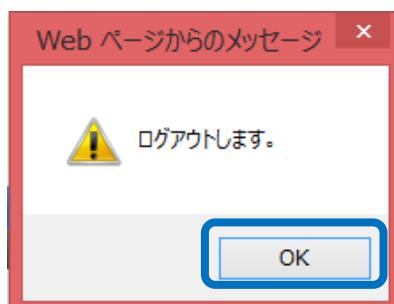
 応答が遅い場合は、ブラウザを再起動することで解決する場合があります。



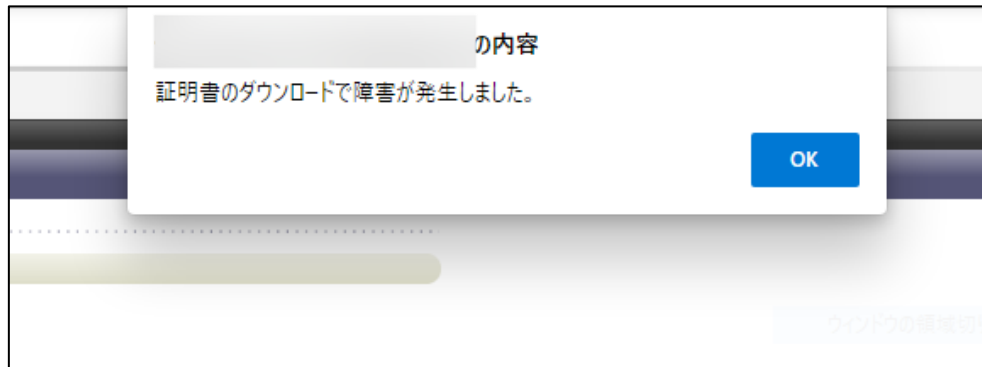
↓以下、ポップアップメッセージが表示されるので「OK」をクリック



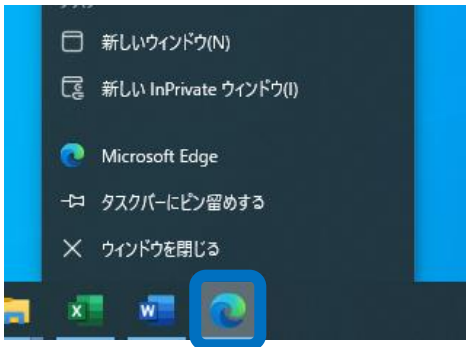
↓さらに、以下ポップアップメッセージの「OK」をクリック



 以下の画面が表示される場合、Edge の管理者権限が起動できているかを確認



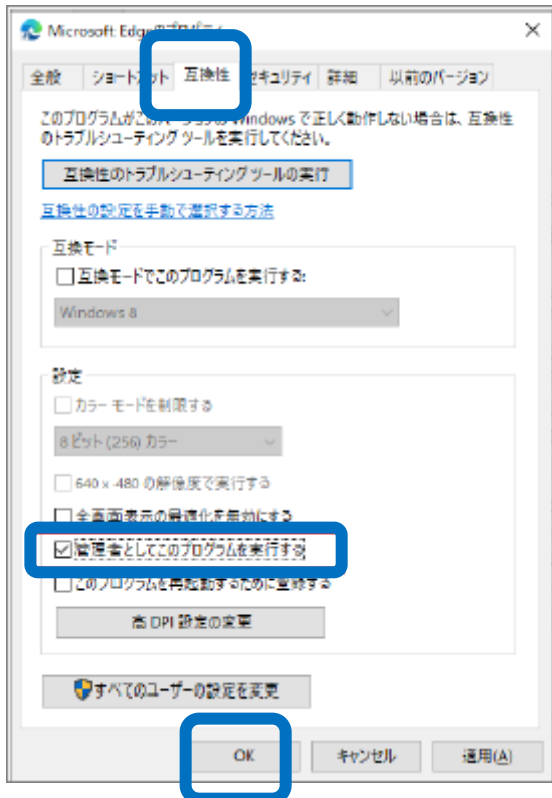
(8) タスクバーの Edge アイコンを 右クリック する。



(9)下から 3 番目に表示されている Microsoft Edge を 右クリック し
その後表示される プロパティ を 押下する。



(10)プロパティの互換性タブにて「管理者としてこのプログラムを実行する」のチェックを外し「 OK 」をクリック



ご利用のアカウントに管理者権限が付与されていない場合、

以下の手順を実施してください。

管理者権限が付与されている場合は次のステップへ進んでください。

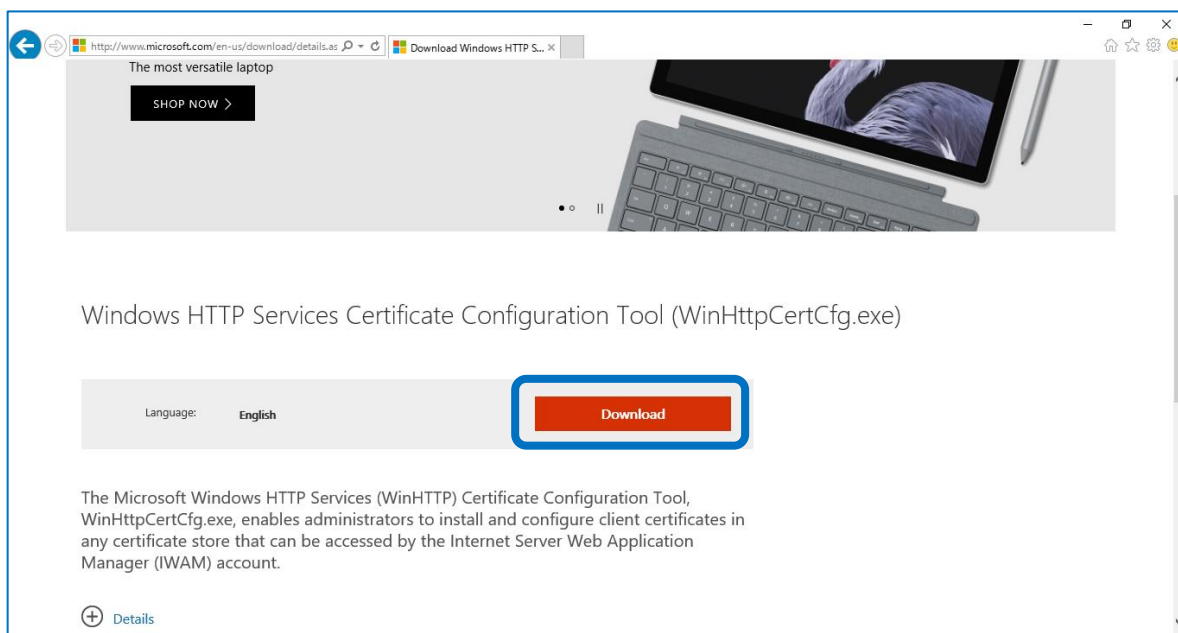
※確認方法は p.49 “[参考]管理者権限有無の確認方法” 参照

(11) 以下 URL 接続

URL <https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=19801>

(12) Download をクリックし、winhttpcertcfg.msi をダウンロード

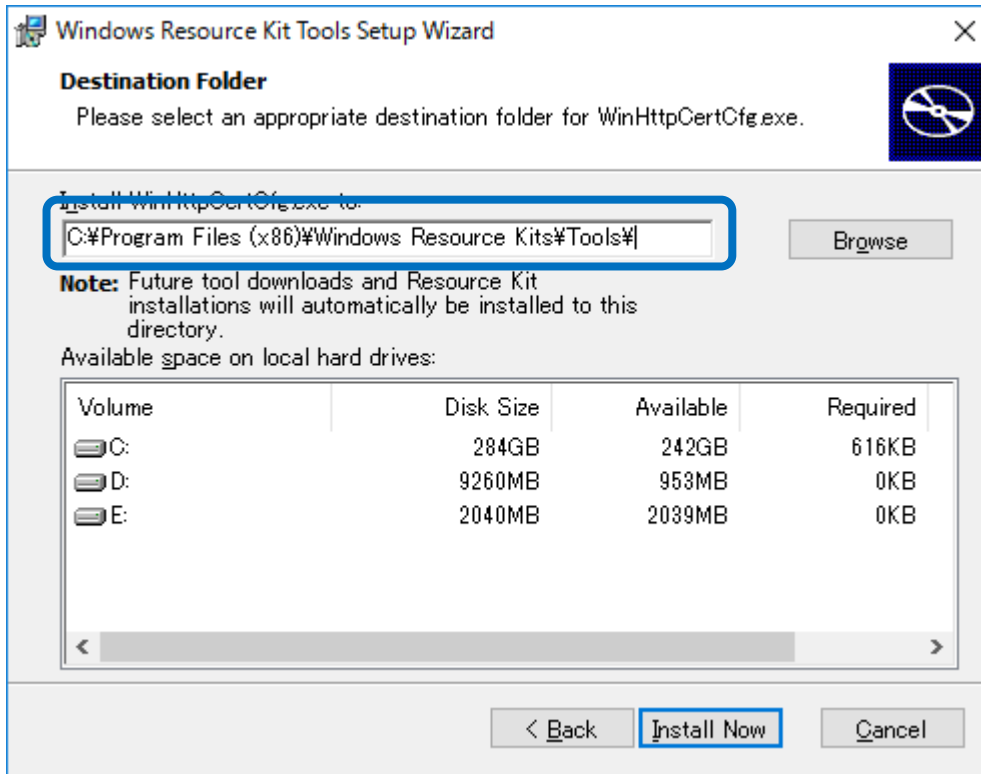
※画面イメージは異なる場合があります。



(13) ダウンロードしたファイルを実行し、WinHttpCertCfg をインストール

※以降の手順で使用するため、インストール先のフォルダを

メモしておいてください。



(14) コマンドプロンプトを管理者権限で実行


(15) 以下のコマンドを実行

```
cd [(7)でメモしたパス]
```

```
winhttpcertcfg.exe -g -c LOCAL_MACHINE¥My -s [証明書の名前] -a [PCのアカウント名]
```

※証明書の名前は接続 ID と同じです。

(実行例)



```

ca. 管理者: コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 6.1.7601]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:¥Windows¥system32>cd C:¥Program Files (x86)¥Windows Resource Kits¥Tools¥

C:¥Program Files (x86)¥Windows Resource Kits¥Tools>winhttpcertcfg.exe -g -c LOCAL_MACHINEMy -s 証明書の名前 -a PCのアカウント名
Microsoft (R) WinHTTP Certificate Configuration tool
Copyright (C) Microsoft Corporation 2001.

Matching certificate:
C=JP
S=Aichi
L=Nagoya
O="Toyota Digital Cruise, Inc."
CN= 証明書の名前

Granting private key access for account:
PCのアカウント名

C:¥Program Files (x86)¥Windows Resource Kits¥Tools>
  
```

実行結果

4.旧証明書削除



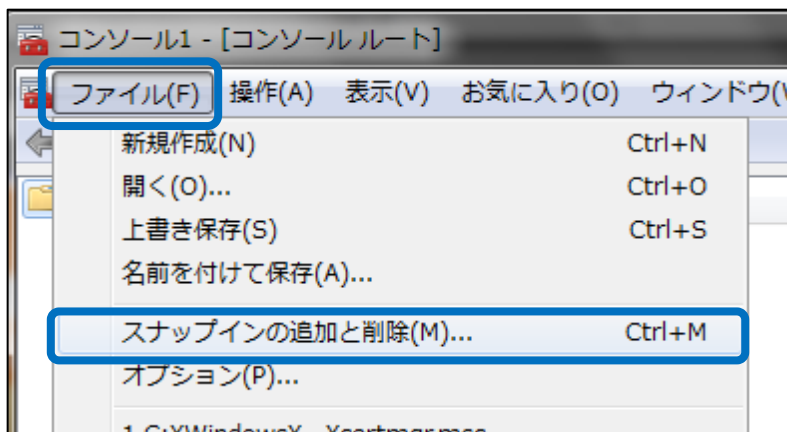
本手順はイントラ SSL またはイントラ SSL Type-L(ATI 接続)から
移行端末のみが対象です

(1) Windows の「プログラムとファイルの検索」から

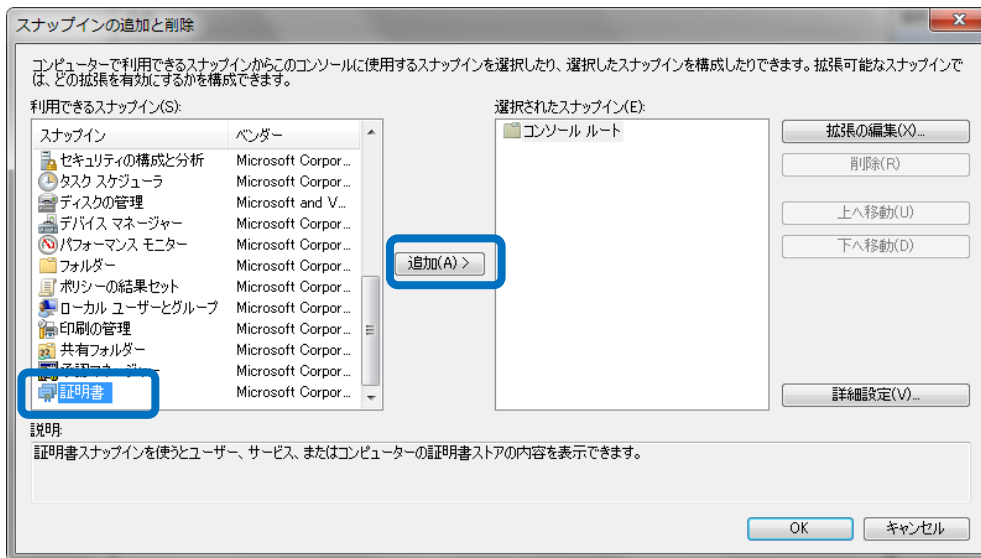
「mmc」を入力し、「Enter」をクリック。



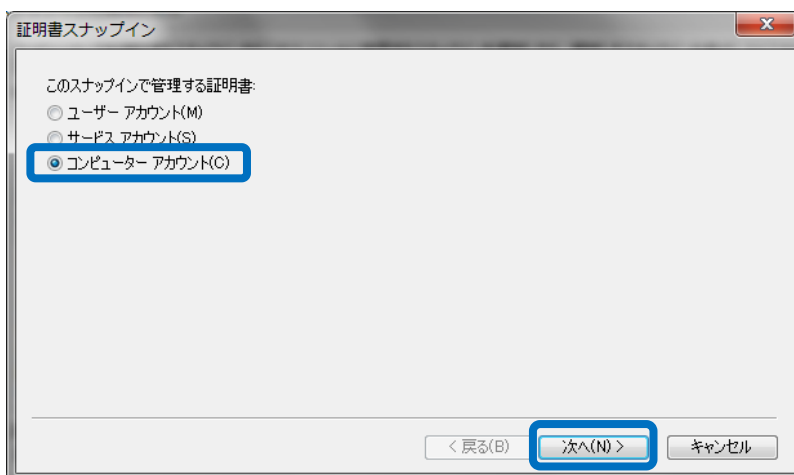
(2) 「ファイル」 > 「スナップインと削除」をクリック。



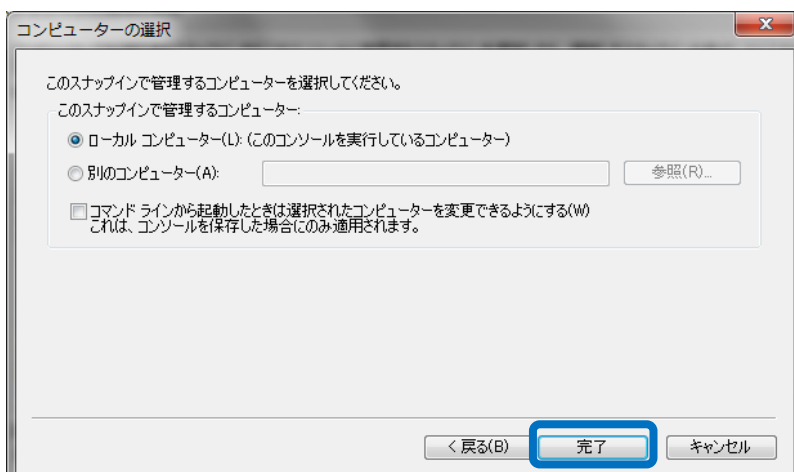
(3) 「証明書」を選択し、「追加」をクリック。



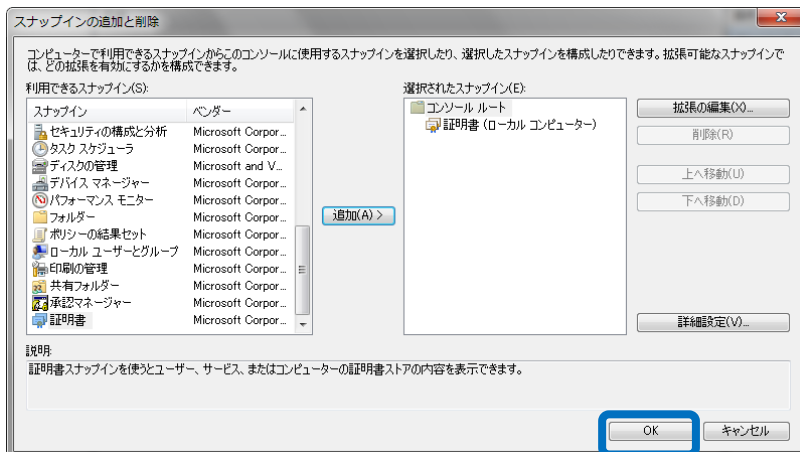
(4) 「コンピュータアカウント」を選択し、「次へ」をクリック。



↓ 「完了」をクリック。

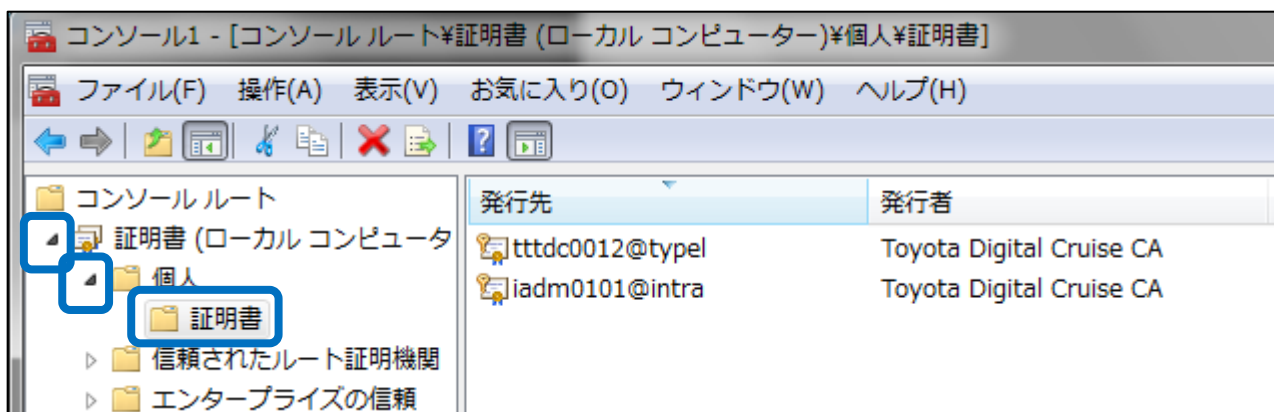


↓ 「OK」 をクリック。



(5) 「コンソール ルート」 > 「証明書(ローカルコンピュータ)」

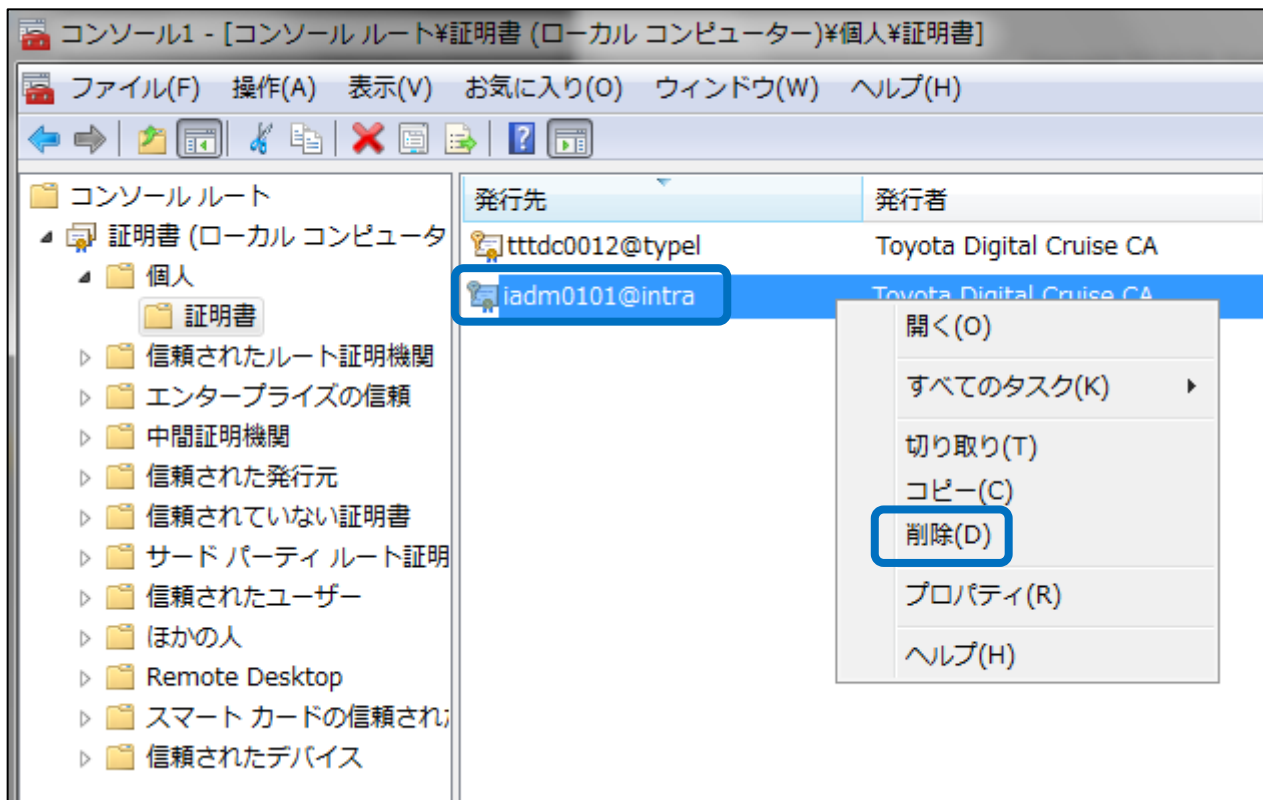
> 「個人」 > 「証明書」 をクリック。



(6) 旧証明書 「****@intra」 「****@typel」 を選択し、

右クリック、「削除」 をクリック。

⚠ 2 項でインストールした証明書 「****@typelp」 と間違えないように注意



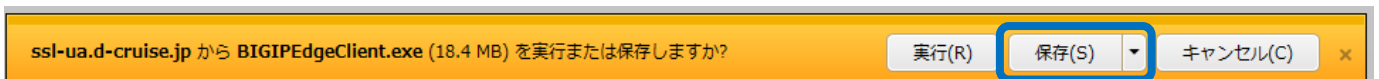
以上で旧証明書の削除は完了です。

5.EdgeClient インストール

(1)以下 URL へ接続。

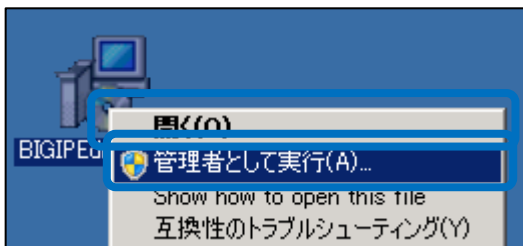
URL	https://ssl-ua.d-cruise.jp/BIGIPEdgeClient_split.exe
------------	---

(2)画面下に以下ポップアップメッセージが表示されるので「保存」をクリック



(3)保存した「BIGIPEdgeClient」のアイコンを右クリックし、

「管理者として実行(A)」をクリック

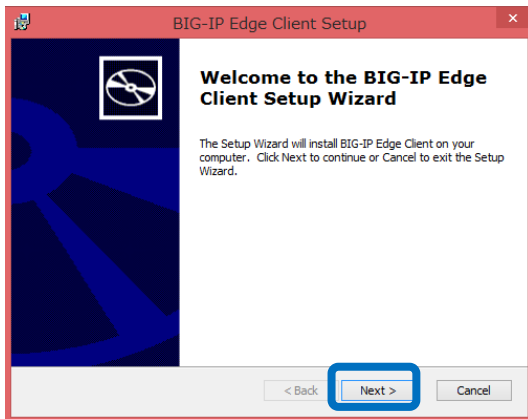


(4)以下の通りインストールウィザードが実行される

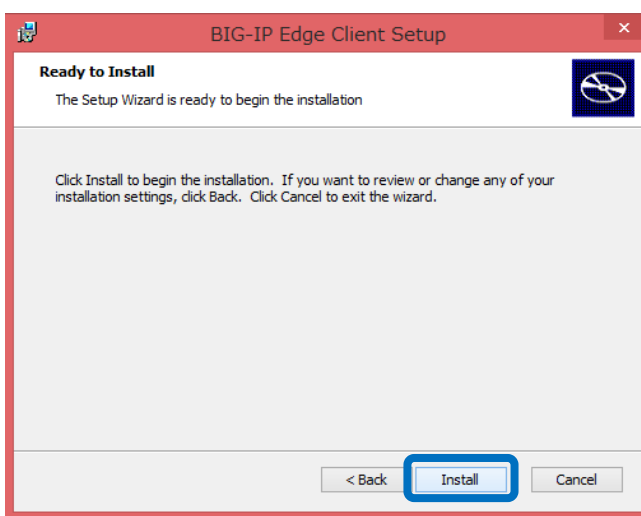
ユーザーアカウント制御「はい」をクリック



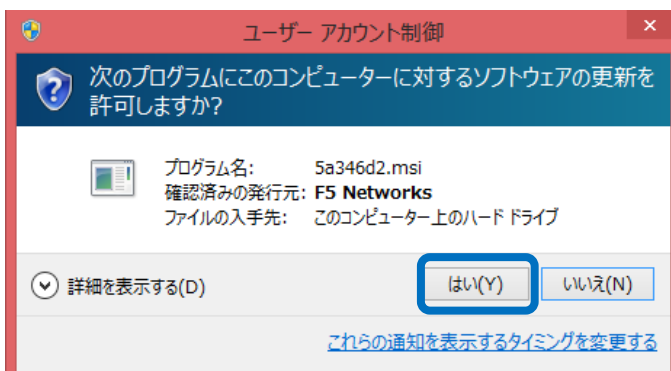
↓ 「Next >」 ボタンをクリック



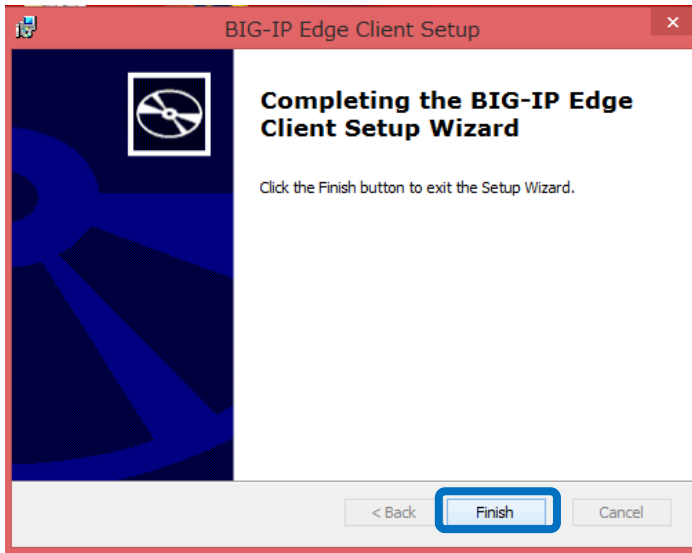
↓ 「Install」 ボタンをクリック



↓ ユーザーアカウント制御「はい」をクリック



↓ 「Finish」 ボタンをクリック



以上で EdgeClient のインストールは完了です。

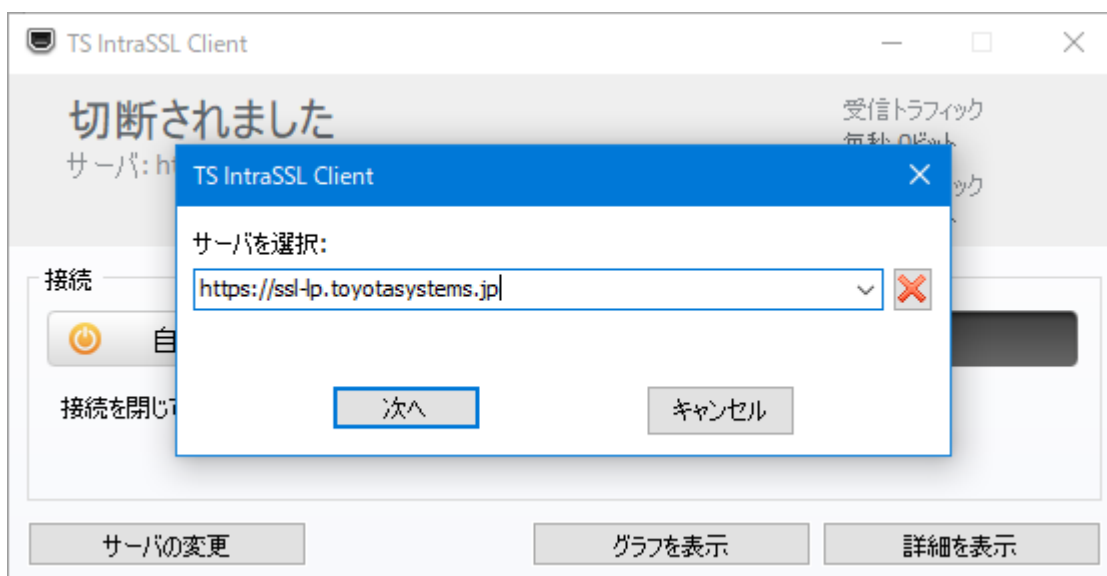
6.SSL-VPN 接続

(1) 「BIG-IP Edge Client」のアイコンをクリック



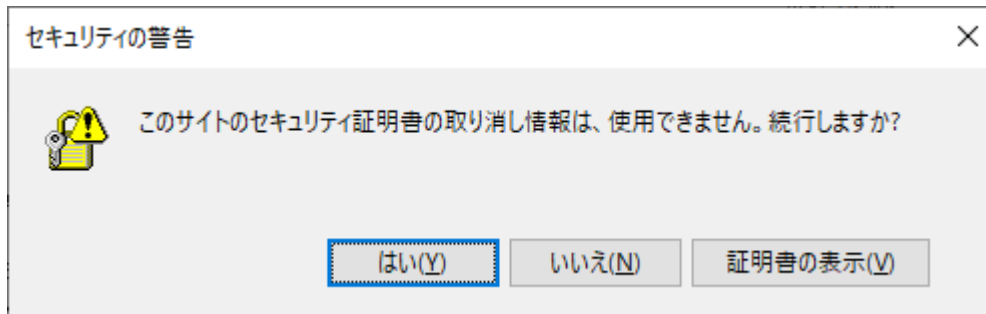
(2) 「サーバを選択：」から以下情報を入力し、「次へ」をクリック

URL	https://ssl-lp.toyotasystems.jp
------------	--

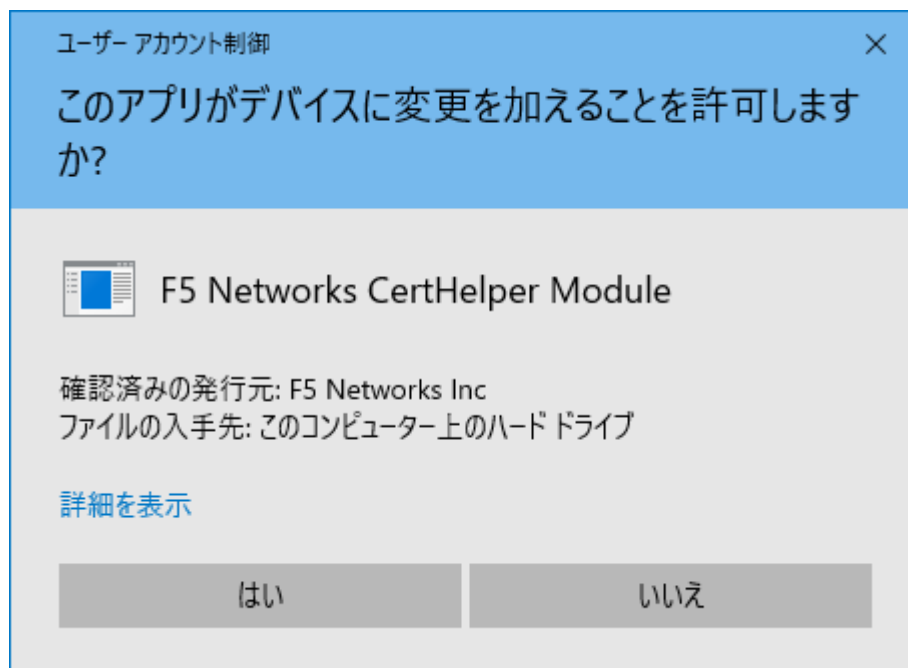


- ⚠️ VPN 接続時に下記の画面①または画面②が表示された場合、
「はい」をクリックしてください。


<画面①>

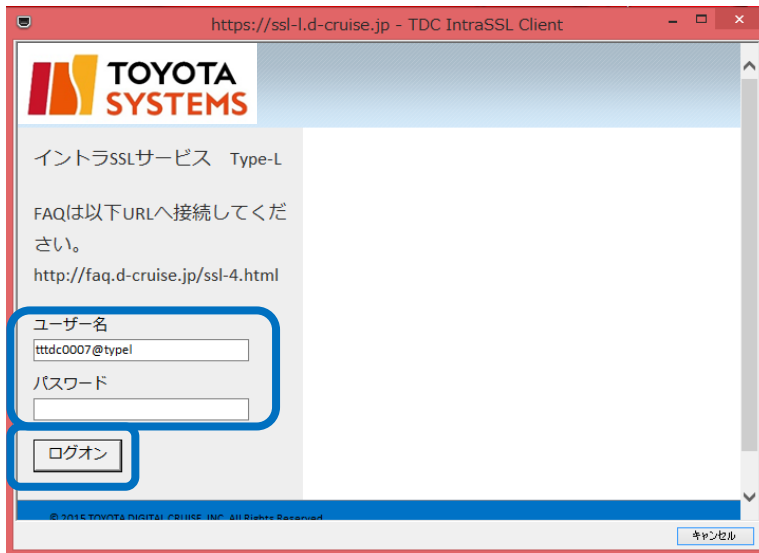


<画面②>



- (3) 認証画面から「接続 ID」と「パスワード」を入力し、
「ログオン」ボタンをクリック

 認証方式が証明書の場合のみは以下認証画面が表示されません



画面右下に以下アイコンが表示されます




アイコン上でクリックすると以下画面に「接続されました」と表示されます。



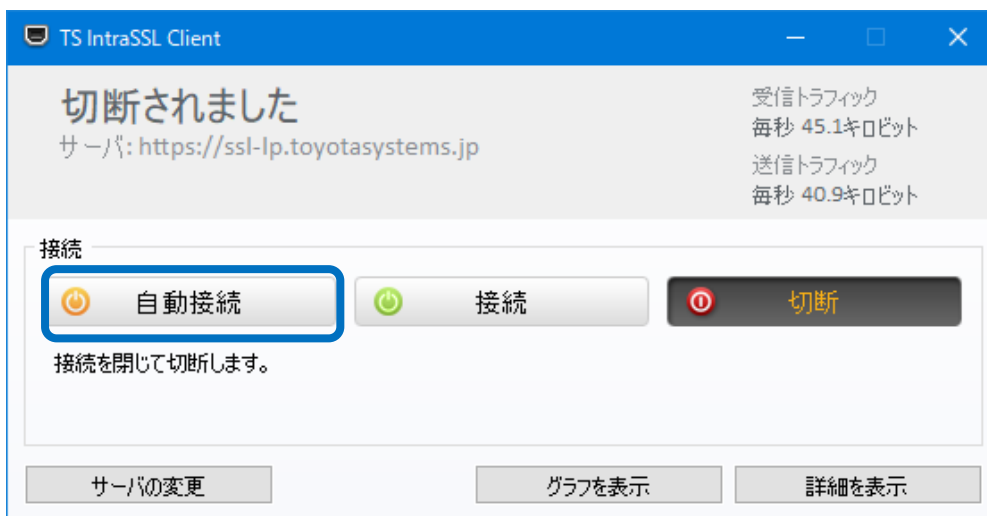
以上で接続は完了です。アプリケーションをご利用ください。

6-1. オンデマンド接続

 オンデマンド機能は事前に利用申請が必要です。

利用可否は管理者へお問合せください。

(1)画面の「自動接続」ボタンをクリック



(2) DHCP を利用していない(固定 IP 設定をしている)場合、

次ページ以降の手順を実施

※確認方法は p.4944 “[参考]DHCP 設定か固定 IP 設定かの確認方法” 参照

(3) 6.(3)以降の手順を実施

(4) 以降、社外ネットワーク接続時は自動で VPN 接続され、

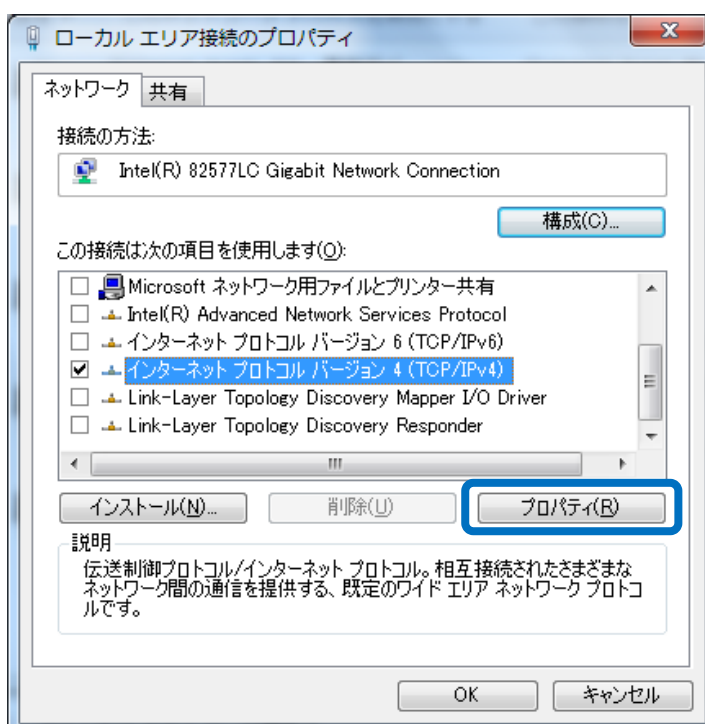
社内ネットワーク接続時は自動で VPN 切断されます。

DHCP を利用していない(固定 IP 設定をしている)場合の手順

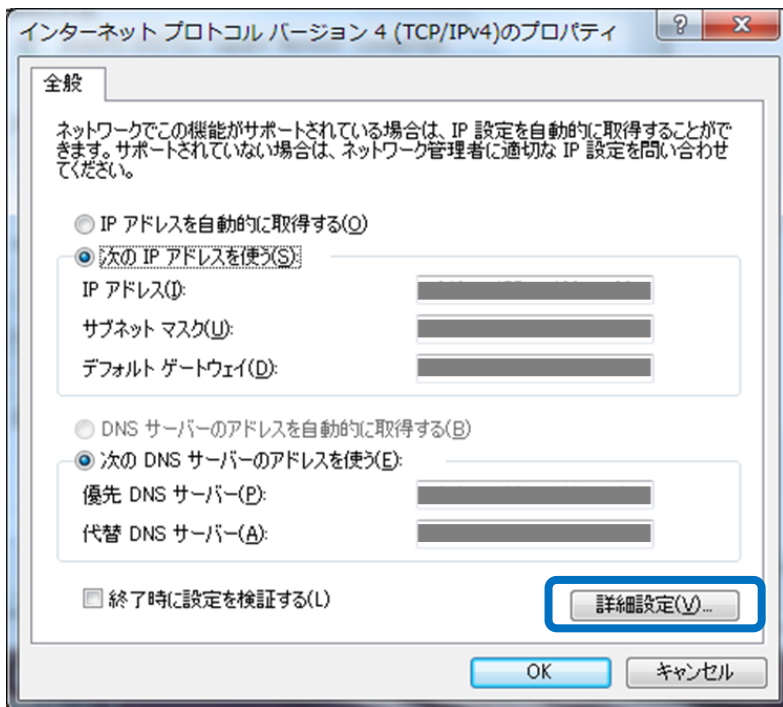
(1) 固定 IP 設定をしているネットワーク接続設定のプロパティを開く



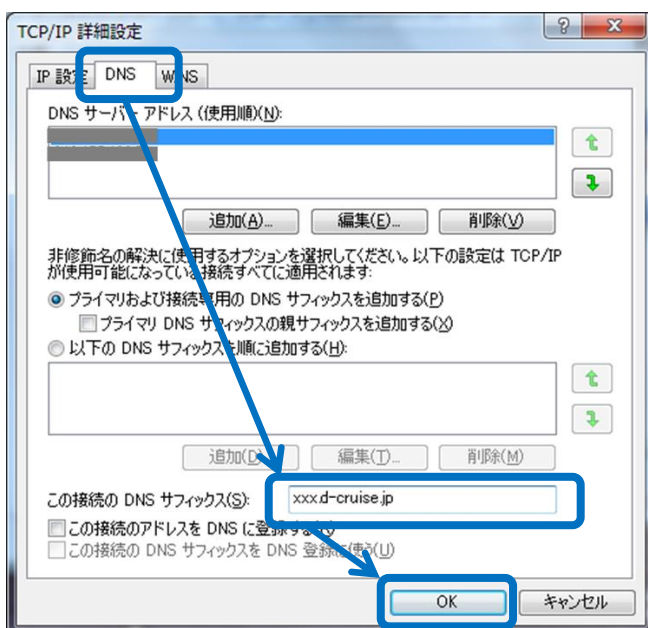
(2) 固定 IP 設定をしている項目の「プロパティ」をクリック



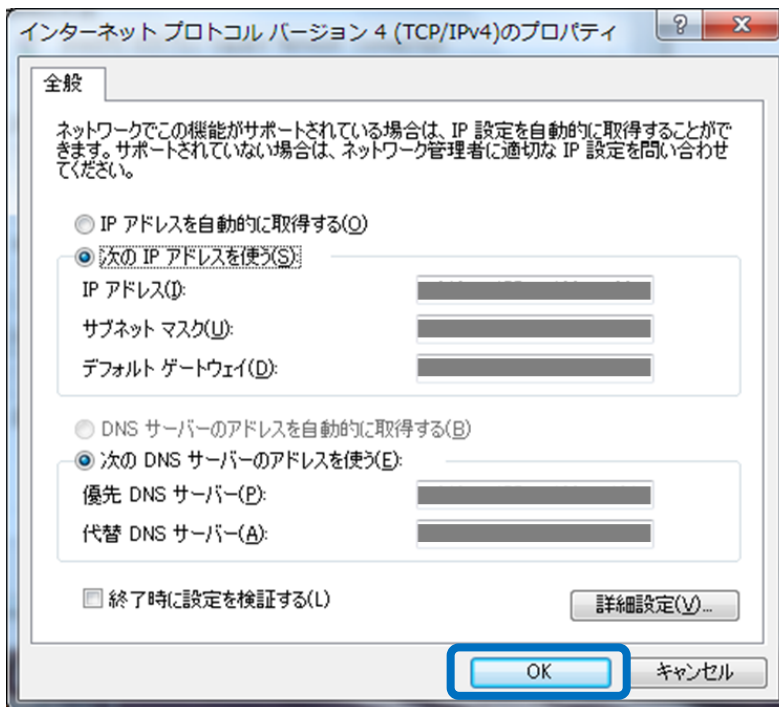
(3) 「詳細設定」をクリック



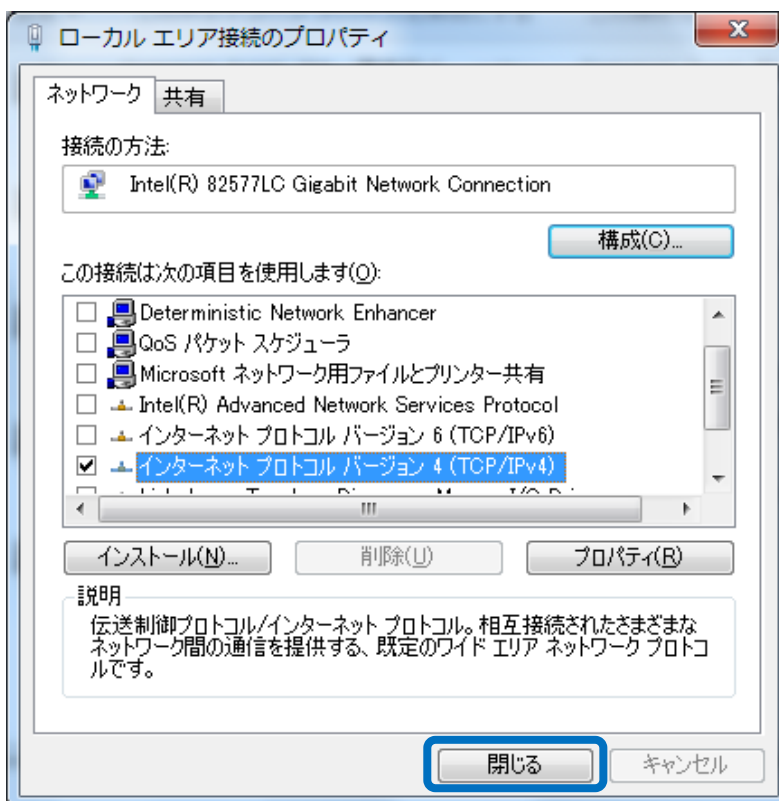
(4) 「DNS」タブ内の「この接続の DNS サフィックス(S)」に、 申請した DNS サフィックスを記載し、「OK」をクリック



(5) 「OK」 をクリック



(6) 「閉じる」 をクリック



7.パスワード変更

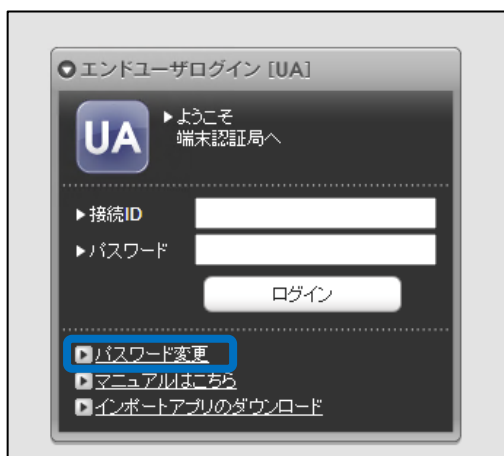
(1) 以下 URL へ接続

URL	https://ssl-ua.d-cruise.jp
------------	---

[接続後の画面]



(2) 「パスワード変更」 ボタンをクリック



- (3) 「接続 ID」、「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、
「新しいパスワード(確認)」を入力し「change」ボタンをクリック。

パスワードの変更

パスワードの変更

👤 パスワードの入力

このページはパスワードの変更を登録を行います。
 フォームに接続ID、パスワードを入力してください。
 全項目入力必須です。空欄のフォームがある場合は、パスワード変更は完了しません。
 パスワードは6文字以上の英数字または記号で入力してください。
 その他のパスワードポリシーは下記FAQより「パスワードポリシーを教えてください」を参照ください。
[FAQ](#)

▶ パスワードの入力

1	接続ID ★:	
2	現在のパスワード ★:	
3	新しいパスワード ★:	
	新しいパスワード(確認) ★:	


Change

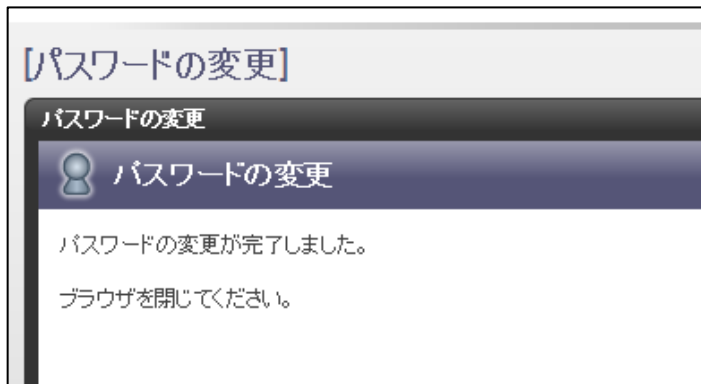
1 : 接続 ID

2 : 現在のパスワード

3 : 新しいパスワード → 任意 ※6文字以上英数字又は記号

: 新しいパスワード(確認) → 同上

 現在のパスワードをお忘れの場合は、お客様管理者へ
パスワードリセットの依頼をしてください。

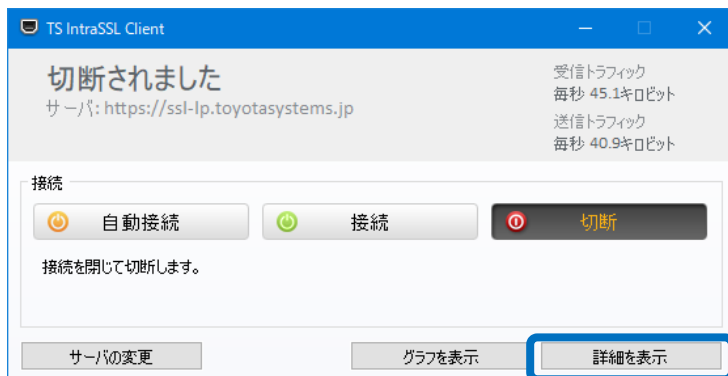


以上でパスワード変更は完了です。

[参考]トラブルシューティング

VPN 接続ができない場合は、以下手順を実施して、
取得した情報をカスタマーセンターへ送付ください。

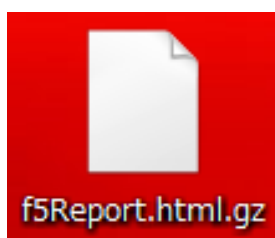
(1) 「BIG-IP Edge Client」のウィンドウから「詳細を表示」をクリック



(2) 「拡張ログ出力」をチェックし、「診断レポート」をクリック



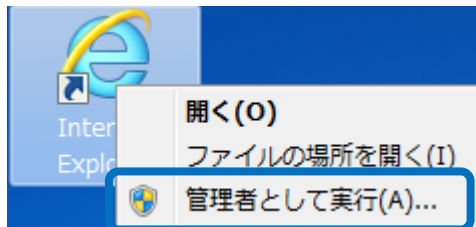
(3) 「f5Report.html.gz」というファイルが作成されていること



[参考]管理者権限有無の確認方法

「Microsoft Edge」など、任意アプリケーションのアイコンを右クリックし

「管理者として実行」をクリック



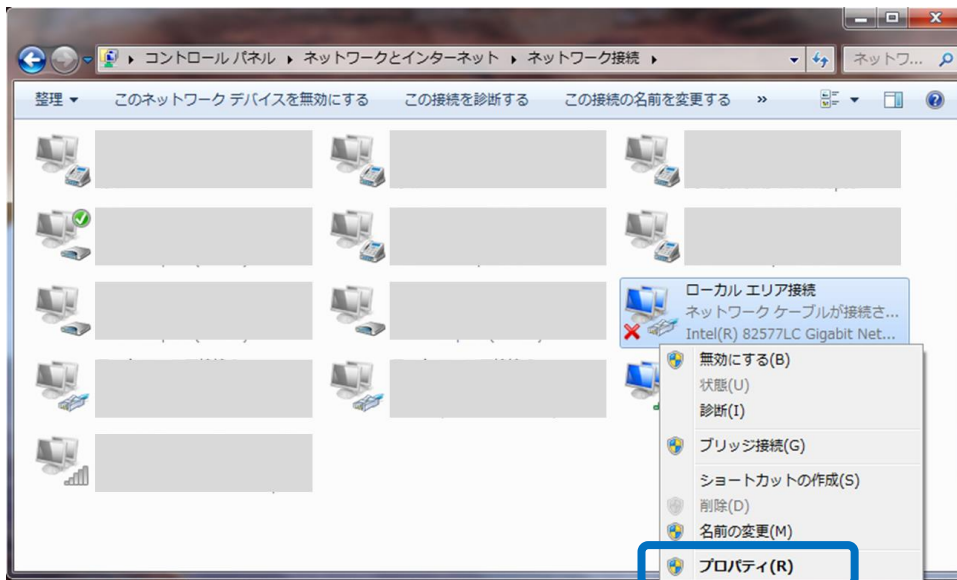
以下のような管理者アカウント情報の入力を求められるユーザーアカウント制御の画面が表示された場合、そのアカウントに管理者権限はありません



[参考]DHCP 設定か固定 IP 設定かの確認方法

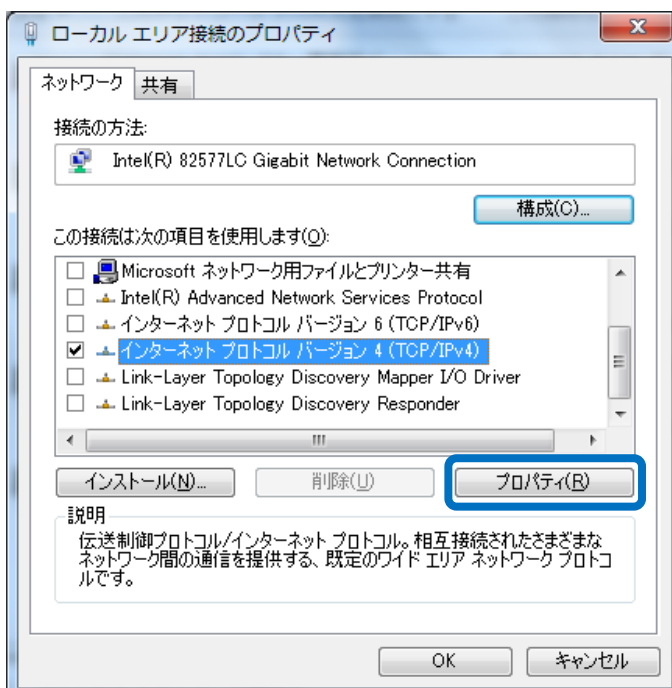
(1) [コントロールパネル]> [ネットワークとインターネット]

> [ネットワーク接続]を選択し、確認対象を右クリックしプロパティを開く

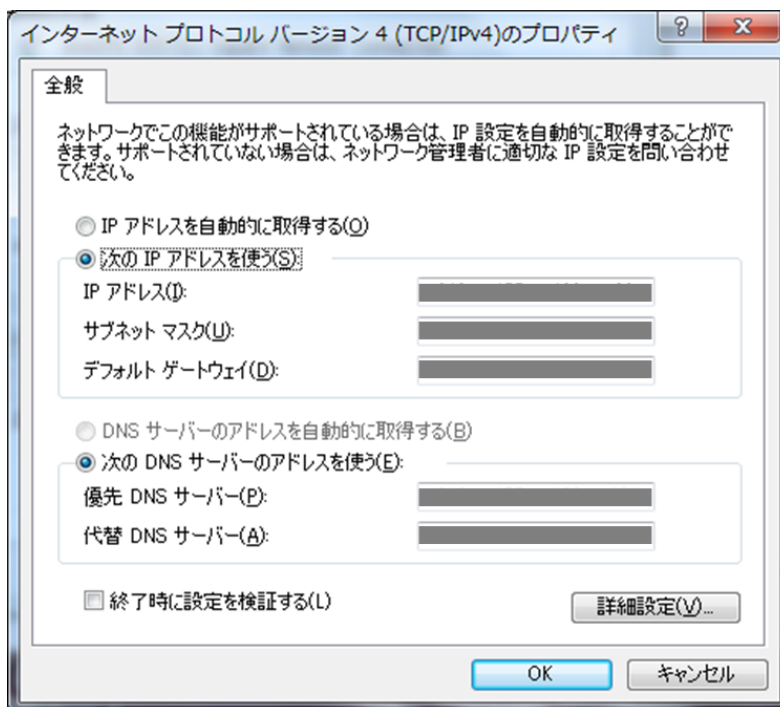


(2) 「インターネットプロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択し、

「プロパティ」をクリック



- (3) 「IP アドレスを自動的に取得する」が選択されている場合は DHCP 設定、
「次の IP アドレスを使う」が選択されている場合は固定 IP 設定



問い合わせ先

お問合せは以下連絡先へ連絡ください

[トヨタシステムズ カスタマーセンター]

受付時間	24h365
対応言語	日本語のみ
問い合わせサイト	https://ts-customer-center.custhelp.com/